

2021年（令和3年）度の インフルエンザワクチン予防接種を ご希望の患者さんへ

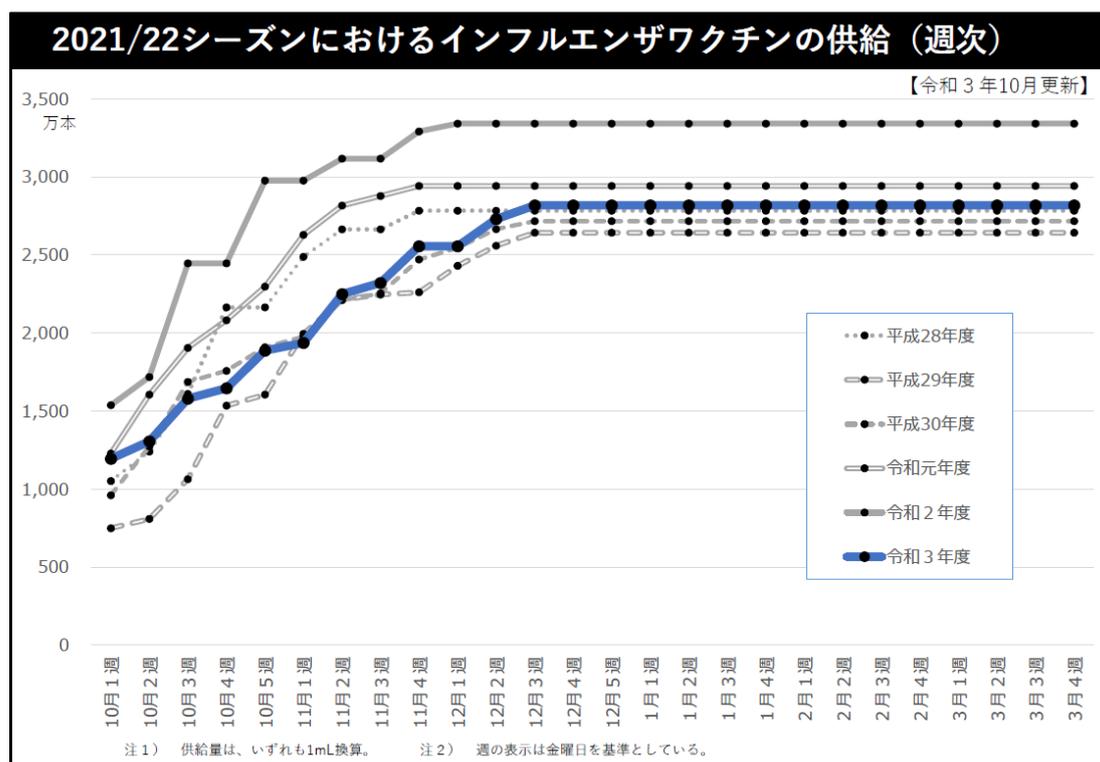
2021年11月16日

インフルエンザワクチンについては、昨年の使用量と比較すると少ないものの、例年の使用量に相当する程度（2,818万本）（昨年の86.1%）は供給される見込みです（10月22日付厚生労働省の発表による）。

しかし、供給は遅れており、10月15日時点で昨年同時期の56.2%となっています。

現時点では入手量が昨年並みでなく、早期の予防接種を希望される患者さんにおかれましては、お待たせして申し訳ございません。供給され次第、ご案内いたします。

なお、医療機関としては、ワクチンの安定供給は国に責任があると考えており、医療団体を通じて改善を求めています。



出典：2021年10月22日、厚生労働省健康局健康課事務連絡